

## 1 ヤングケアラー支援体制の整備

- ・教育研究所教育支援部生徒指導係に「ヤングケアラー支援室」を設置
- ・令和4年度「ヤングケアラー等に関する実態調査」における要支援生徒の追跡
- ・新規ケースの掘り起こし(学校・市町村教育委員会等からの相談受付、メール相談窓口[ヤングミライ]の運営 等)
- ・児童生徒一人一人の実情に応じた福祉的支援・心理的支援等をコーディネート 等

【児童生徒の現状(R4実態調査[R4.7月末]より)】

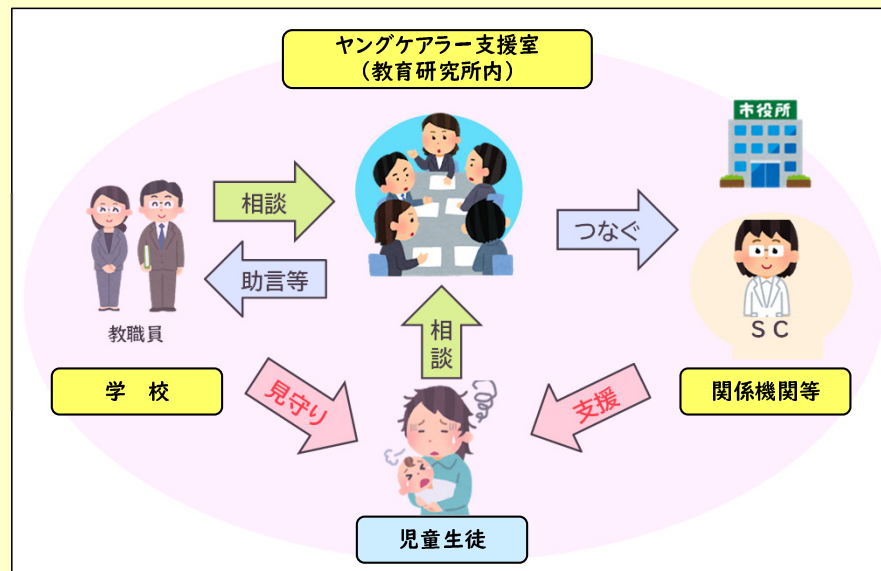
- ヤングケアラーに関する認知度 中学生 20.3%、高校生 32.2%
- 生徒が行っている家事や家族の世話の実態

	中学生	高校生
A 調査回答生徒数	25,956 人	15,221 人
B Aのうち、週3日以上家事や家族の世話を行う生徒数	2,289 人	1,130 人
C Bのうち、平日に3時間以上の時間を費やしている生徒数	207 人	100 人
D Cのうち、「きつさ」を感じている生徒数	79 人	46 人
E Dのうち、「よく欠席する」生徒数	16 人	17 人

- 支援に対する意識 (上表Cに該当する生徒)

	中学生(n=207)	高校生(n=100)
家族のことだから相談したくない	25 人	12 人
相談しても解決しないから相談したくない	40 人	33 人
相談したい	12 人	7 人
その他(既に先生に相談している等)	93 人	35 人
無回答	37 人	13 人

継続支援  
新規支援  
掘り起こし



＜ヤングケアラー支援室＞

- ・支援コーディネーター 1名
- ・スクールソーシャルワーカー(SSW) 4名[週3日]
- ・スクールカウンセラー(SC) 2名[週1日]

## 2 ヤングケアラー認知度向上・学校対応力向上に向けた取組

- ・認知度向上のための児童生徒向け啓発資料の内容等を「ヤングケアラー支援室」において検討
- ・教職員向け研修の内容検討及び実施 等